

災害時の歯科口腔保健とは？ アセスメントを記載してみても、考えよう！

2026年7月26日(日) 講義部分のみ 前半28+後半34分

東京都歯科技工士会研修室

東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師
東京科学大学 大学院 救急災害医学分野・歯科公衆衛生学分野 非常勤講師
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部・日本大学松戸歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp

災害時の健康管理

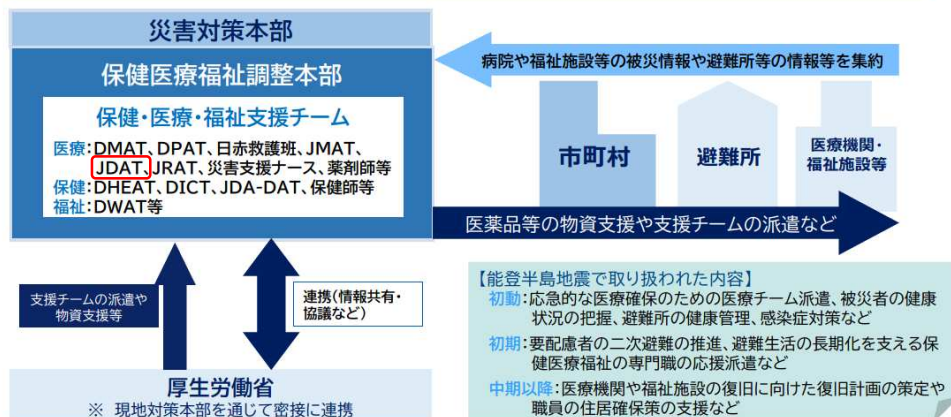
- 災害時の健康管理の調整
- JDATと災害時の口腔健康管理
- 災害時の歯科保健医療アセスメント

都道府県保健医療福祉調整本部を通じた震災対応

概要

○ 大規模災害時には、都道府県に災害対策本部の下に、医療・保健・福祉支援の司令塔である「保健医療福祉調整本部」を設置し、関係機関との連携、情報収集・分析、保健医療活動チームの派遣調整等を一体的に実施。

※ 能登半島地震においては、石川県が保健医療福祉調整本部を設置。本部会議を計34回開催し、情報分析や対応方針の策定などを実施。



災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

保健・医療・福祉の活動チームによる支援（主なもの）



DMAT 現場活動（患者搬送）



保健師による避難所巡回（輪島市）



1, 5次避難所内に設置したDWATによる「なんでも福祉相談コーナー」

DMAT (ディーマット: 災害派遣医療チーム)
Disaster Medical Assistance Team

DPAT (ディーパット: 災害派遣精神医療チーム)
Disaster Psychiatric Assistance Team

JMAT (ジェイマット: 日本医師会災害医療チーム)
Japan Medical Association Team

JDAT (ジェイダット: 日本災害歯科支援チーム)
Japan Dental Alliance Team

DHEAT (ディーヒート: 災害時健康危機管理支援チーム※)
Disaster health emergency assistance team

DWAT (ディーワット: 災害派遣福祉チーム)
Disaster Welfare Assistance Team

JRAT (ジェイラット: 一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会)
Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

JDA-DAT (ジェイディーエーダット: 日本栄養士会災害支援チーム)
The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team

DICT (ディーアイシーティー: 災害時感染制御支援チーム)
Disaster Infection Control Team

日赤救護班 (日本赤十字社)

保健師等チーム (自治体職員)

等

医療

心理

医療

歯科

保健

福祉

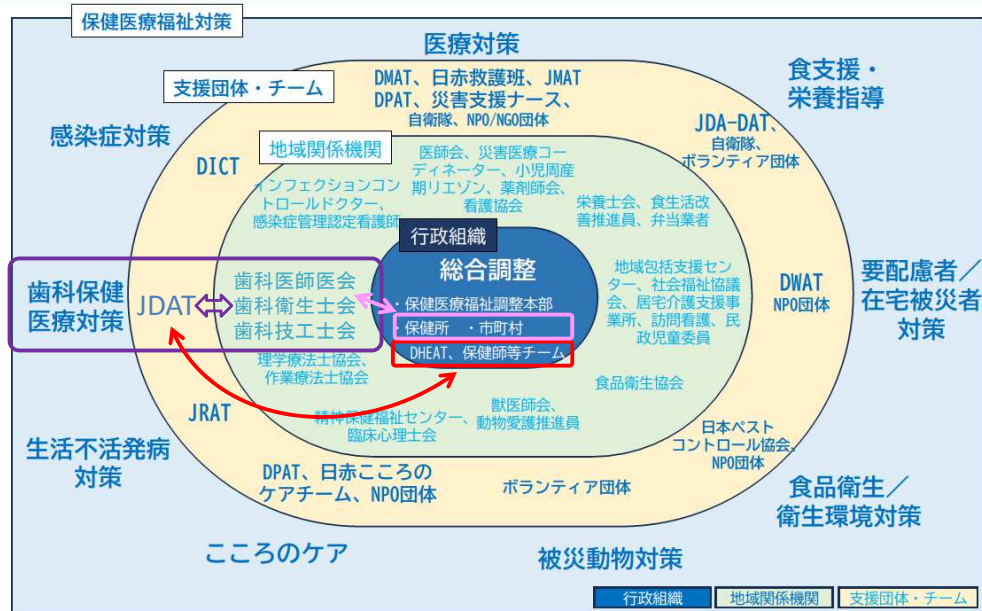
リハ

栄養

保健

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

災害時の主な保健医療福祉活動（施策）と関係団体【例】



出典：DHEAT活動ハンドブック（第2版）（令和5年3月）67頁より引用・編集

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、
「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

6

災害時保健医療対策の3本柱



防ぎえた死と二次健康被害の最小化

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

災害時の医療福祉支援チーム、厚労省に新設へ… 被災地の状況やニーズ分析し「自治体任せ」にせずサポート

読売新聞オンライン 2026/01/17 15:00

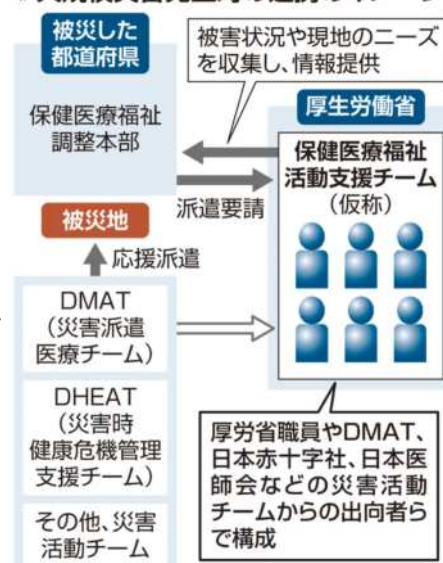
厚生労働省は、大地震などの災害発生時に被災した都道府県の活動を支援するため、4月に「保健医療福祉活動支援チーム（仮称）」を設置する方針を固めた。迅速で適切な医療活動が行えるよう、被害状況や現地のニーズを収集し、被災自治体の情報分析や判断を後押しする狙いがある。

支援チームは、厚労省各局の職員のほか、災害派遣医療チーム（DMAT）や日本赤十字社、日本医師会などの災害活動チームからの出向者ら十数人規模で発足する見通しだ。

2024年1月の能登半島地震では、県の災害対策本部と現地で活動する災害医療チームの連携不足や、被災地で情報収集・分析が迅速に行えなかったことによる医療支援の遅れ、需要と供給のずれなどが課題として指摘された。この教訓を踏まえ、新設する支援チームは、被災地の情報を一元化し、状況の分析を自治体任せにしない形でサポートすることを目指す。

災害発生時には、被災した都道府県が現地の医療活動を調整するために開設する「保健医療福祉調整本部」に、支援チームから情報提供を行い、救急医療

大規模災害発生時の連携のイメージ



東京都歯科技工士会「生涯研修」（東京都委託事業）2026年7月26日
災害時の歯科口腔保健とは？アセスメントを記載してみて、考えよう！

災害時の健康管理

- 災害時の健康管理の調整
- JDATと災害時の口腔健康管理
- 災害時の歯科保健医療アセスメント

Japan Dental Alliance Team (JDAT、日本災害歯科支援チーム)

令和4年(2022年)3月2日正式発足

【目的・趣旨】

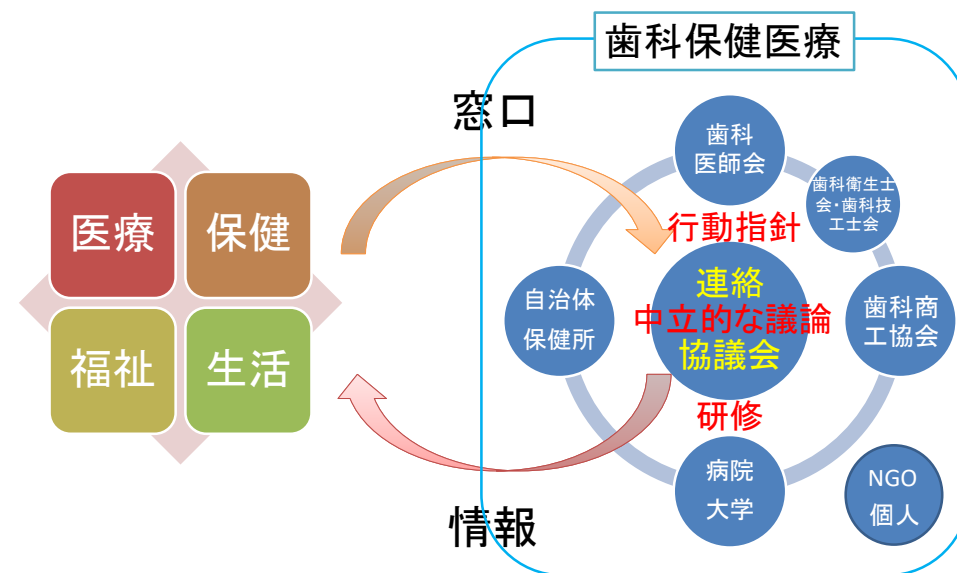
JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科診療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

(後略)

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) 活動要領(第2版)

日本災害歯科保健医療連絡協議会

2015年4月～



日本災害歯科保健医療連絡協議会 ※平成27年4月設置

<目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期に)に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

<参画団体>

- ① 日本歯科医師会
- ② 日本歯科医学会
- ③ 日本私立歯科大学協会
- ④ 国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤ 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥ 日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦ 日本歯科衛生士会
- ⑧ 日本歯科技工士会
- ⑨ 全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩ 日本歯科商工協会

※オブザーバー: 内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

行動指針



共通書式



災害歯科保健医療 標準テキスト



JDAT 活動要領



県外JDAT派遣先市町村と派遣チーム数(127)



- 1チームは、3市町村で活動
- 1チームは活動拠点の物資整備のみ
- 派遣日数はまちまちで、隣県からの日帰りでの派遣もあった

派遣日数	チーム数
1	35
2	7
3	21
4	43
5	15
6	3
7	3
8	1

能登北部医療圏における人口と歯科診療所数

	歯科診療所	人口	人口高齢化率
輪島市	12	22,000	46%
珠洲市	5	12,000	52%
能登町	5	14,000	50%
穴水町	4	7,000	49%

- 1月18日 県外JDAT派遣開始
- 3月10日 県外JDATを北陸3県のに限局
- 3月20日 県外JDAT派遣終了

県内JDATによる活動

- 歯科診療車による仮設診療所(珠洲市、2月4日～4月27日)
- 1.5次避難所巡回歯科保健医療活動(1月19日～4月20日)

令和6年能登半島地震 JDAT活動(珠洲市)



避難所の生活・

衛生環境の確認

2024/1/23



避難所の歯科



口腔衛生用品の確認と



整理・補充

2024/1/23



避難所における歯科保健活動 2024/1/23



令和6年能登半島地震 JDAT活動(珠洲市)



避難所における応急歯科診療 2024/1/23

歯科診療所が再開できるまで設置された、仮設歯科診療所



2024/2/05



避難所における歯科医療救護



避難所における歯科保健活動(個別)



歯科診療所が再開できていない市町村における仮設歯科診療所



避難所における歯科保健活動(集団)



- ・ JDAT (日本災害歯科支援チーム)は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- ・ 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- ・ 歯が痛い、口内炎ができた
- ・ 入れ歯が痛い、ゆるい
- ・ 歯の詰め物がとれた
- ・ 食事が食べにくい、むせる



歯科保健活動

歯や口のお困りごとを確認し、災害時の生活における工夫の仕方を、おひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- ・ お水が少ない時の歯みがきの工夫
- ・ お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の 健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしったりします。

- ・ お口の体操
- ・ 歯や口と健康 講和



地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

＜連絡先＞ **歯科医師会 ***-**-****

災害歯研 Ver1.2 (202504)

口腔健康管理/口腔機能管理

清潔を保って
疾病予防！

口腔健康/機能管理

口腔ケア 歯科治療 口腔体操

しっかり噛んで
飲み込める！

口腔内細菌 増殖予防

歯科疾患の予防

口腔内の感染症の予防

唾液分泌量/筋力維持

適切な咀嚼/摂食/嚥下
機能維持
(適切な栄養摂取可能な状態)

肺炎/続発症予防・適切な栄養摂取

【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続
2025.04.08 医学界新聞: 第3572号, https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572_05



チーム構成・活動内容

歯科診療所休診時期(活動開始時) ⇄ 歯科診療所再開時期

歯科医療救護チーム

歯科医師2、事務職1
歯科医師2、歯科衛生士1、歯科技工士1



歯科保健支援チーム

歯科医師2、歯科衛生士2

歯科医師1、歯科衛生士2～3

応急歯科診療

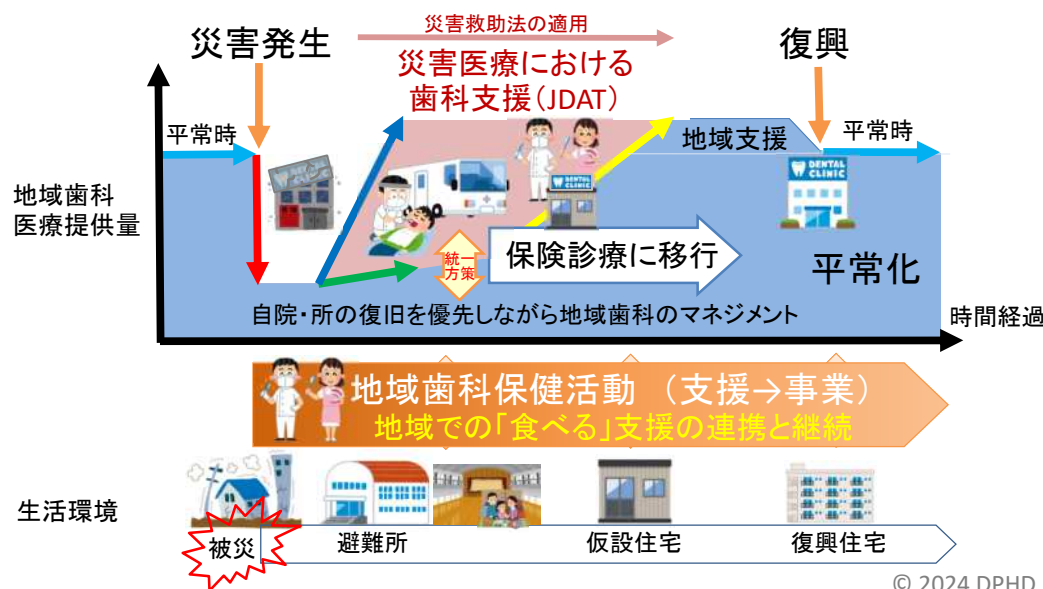
口腔ケア・歯科保健活動



応急歯科診療

歯科保健活動(口腔清掃の啓発・指導/口腔ケア/口腔機能・健康管理)

支援活動の移行 (災害医療→保険医療, 支援活動→地域事業)



厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業
研修会(2026年度現在)赤字は2024年度から

JDATロジスティクス研修会(計画中)

- ・各構成団体におけるJDAT事務局関係者が主な対象
- ・2024年度からロジスティクス基礎研修会をオンライン開催

JDATアドバンス研修会(2020年度～)

- ・対象は各構成団体よりの推薦者
- ・東京にて年3回(地域別)、実地
- ・事前動画・事前課題あり、当日は意見交換が主体

JDAT標準研修会(2018年度～(旧:体制研修会))

- ・eラーニング(標準編1時間)による事前研修あり、演習は5時間
- ・基本は地域開催(主催:各構成団体及び傘下団体)、対象は主催者で設定可
- ・日本歯科医師会開催は年1回:オンデマンド動画+実地演習、各構成団体の推薦者)

JDAT基礎研修会(2024年度～)

- ・eラーニングのみ(基礎編2時間30分)
- ・どなたでも、いつでも、もちろん無料!
- ・PDFにて修了証発行

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



日本歯科医師会

Japan Dental Association

国民のみなさま

歯科医師のみなさま

日本歯科医師会

歯科医師とは

セミナー

各種資料等

歯科医師・学生

E-system

女性歯科医師

HOME

会員登録

ENGLISH

キーワード検索

検索

メンバーズルームログイン

HOME ▶ 歯科医師のみなさま ▶ 災害歯科保健医療対策

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT（日本災害歯科支援チーム）

▼ JDATロゴマーク

▼ 災害歯科保健医療eラーニング

▼ JDAT標準研修会

▼ JDATアドバンス研修会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本歯科医師会災害対策

お役立ち情報

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

全国の歯医者さん

20

マル

○ 災害歯科保健医療eラーニング

基礎編の受講・研修登録はこちらから

標準編の受講・研修登録はこちらから

研修受講に当たっての注意事項（基礎編）

研修受講に当たっての注意事項（標準編）

※必ず注意事項及び下記実施要領を読んでから研修登録を行うこと。

※基礎編と標準編の両方を受講する場合はそれぞれ研修登録が必要となる。

約2時間30分

約60分

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>

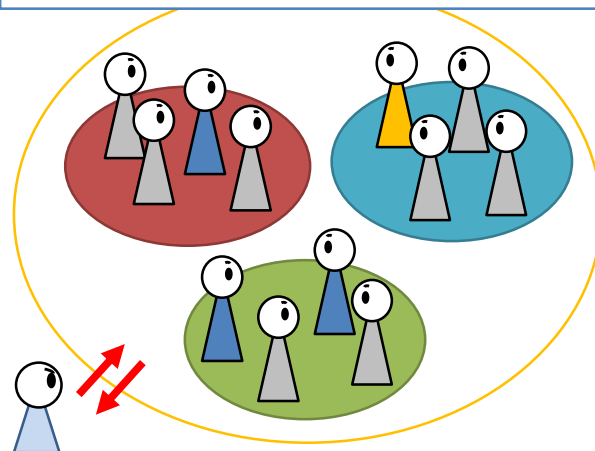


日本災害歯科支援チーム

※ 各県5～10チーム(基本は保健所単位ごとに1チーム)配備

○×市 災害対策本部 参集菌科于一ム

他地域へ派遣



現地災害歯科コーディネーター
(現地支援活動コーディネーター)

※職能団体や組織における災害対応
研修は受講していることが望ましい

© 2025 DPHD

東京都歯科技工士会「生涯研修」(東京都委託事業)2026年7月26日
災害時の歯科口腔保健とは？アセスメントを記載してみて、考えよう！

災害時の健康管理

- 災害時の健康管理の調整
- JDATと災害時の口腔健康管理
- 災害時の歯科保健医療アセスメント

医療 供給×需要 ミスマッチ 対策

- ・効率化(医療の)
 - 傷病者のトリアージ
 - 病院情報の一元化
- ・医療を↑
 - 病院支援(インフラ、資器材、人材、薬剤etc.)
 - 広域医療搬送
- ・受診者を↓
 - 防災(地域・個人)
 - 避難所・地域における健康管理

(ラピッド)アセスメント
病気の人や病気になり
そうな人、その背景
にある課題や問題等
を迅速に把握する

効果的な対応には？

歯科保健医療の「ニーズ」

医療・保健(初期)・保健(中長期)

歯科
医療

- ・ 歯科医療ニーズは初期が多く、だんだんと
落ち着いてくる
- ・ 多くは、自覚症状により訴えられてくる

保健

(口腔健康管理／
災害関連疾病予防)

- ・ 初期は、口腔衛生管理が困難となり、口腔
や全身の感染症などが懸念される
- ・ 自認はあっても、それにより引き起こされる
疾病などへの認識は少ないため、訴えとし
てはあがって来にくい
- ・ 環境要因は個人からは訴えにくい
 - ・ 居住／生活環境の変化により、時間とと
もにフレイルが進む場合が見受けられる
 - ・ 特にハイリスク者に予防策をとらない限り、
フレイル関連疾病となっていく

歯科保健医療における時間経過ごとの問題点と活動

保健医療活動に おけるフェーズ	0 初動体制の確立	1 緊急対策	2 応急対策 (避難所対策中心)	3 応急対策 (仮設住宅入居まで)
時期(目安)	発災～24時間	24～72時間以内	4日目～1・2か月?	1・2か月?～
歯科の 問題点	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	
	●口腔領域の外傷	●口腔領域の外傷	●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 ●食べる機能の低下	●食べる機能の低下
	疾患・状態	●義歯紛失・破損 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥	●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 ●食べる機能の低下	●食べる機能の低下
	医療提供	●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保
歯科保健 医療活動	●口腔衛生用品の提供	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備	
	疾患・状態	●口腔ケアの啓発	●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●食形態の確認・支援	●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導
	医療提供	●応急歯科診療 ●口腔ケア	●応急歯科診療 ●口腔ケア	●応急歯科診療の支援 ●口腔ケアの支援

東京都歯科技工士会「生涯研修」(東京都委託事業)2026年7月26日
災害時の歯科口腔保健とは?アセスメントを記載してみて、考えよう!

災害時の歯科対応 と歯科技工士

- ・ 経験
- ・ 法的根拠
- ・ 可能性

東日本大震災での 歯科支援

東日本大震災での県外よりの派遣者数

歯科保健医療活動(7月14日)

	岩手		宮城		福島		計	
	出勤人数	延べ人数	出勤人数	延べ人数	出勤人数	延べ人数	出勤人数	延べ人数
歯科医師会関係	3	18	80	454	10	60	93	532
衛生士会関係等	3	18	46	287	5	30	54	335
大学関係歯科医師	0	0	70	486	2	12	72	498
大学関係衛生士	0	0	17	118	1	6	18	124
技工士会関係	0	0	1	3	0	0	1	3
事務局	0	0	3	11	0	0	3	11
Total	6	36	217	1,359	18	108	241	1,503

日本歯科医師会からの派遣は7月23日まで

図-1 全国からの支援 県歯科医師会関係 全国21歯科医師会 大学関係 13校

		大学
期 間	歯 科 医 師 会 ・ 大 学 名	
4月	4.11～4.17	神奈川県3チーム、京都府、北海道医療大学、札幌医科大学
	4.18～4.24	北海道3チーム、北海道医療大学、鶴見大学
	4.25～5.1	長野県、松本歯科大学2チーム、北海道医療大学、日本歯科大学付属病院
5月	5.2～5.8	大分県、静岡県、兵庫県、北海道医療大学、日本歯科大学附属病院
	5.9～5.15	愛媛県、滋賀県、兵庫県、北海道医療大学、日本歯科大学附属病院
	5.16～5.22	埼玉県、福岡県、福井県、北海道医療大学、日本歯科大学附属病院
	5.23～5.29	奈良県、奈良県歯科衛生士会、高知県、高知県歯科衛生士会、山梨県、山梨県歯科衛生士会、神奈川県歯科衛生士会、北海道大学、明海大学歯学部
	5.30～6.5	江戸川区、世田谷区、東京都歯科衛生士会、愛知県歯科衛生士会、東京医科歯科大学、明海大学歯学部
6月	6.6～6.12	神奈川県2チーム、神奈川県歯科衛生士会、日本大学歯学部附属病院、松本歯科大学
	6.13～6.19	岡山県、岡山県歯科衛生士会、石川県、静岡県歯科衛生士会、東京都歯科衛生士会、松本歯科大学、東北大学、日本大学松戸歯学部、東松島市鳴瀬歯科診療所
	6.20～6.26	京都府、京都府歯科衛生士会、兵庫県歯科衛生士会、東京医科歯科大学
	6.27～7.3	三重県、北海道歯科衛生士会、群馬県歯科衛生士会、東北大学、神奈川県歯科大学
	7.4～7.10	三重県、三重県歯科衛生士会、北海道歯科衛生士会、群馬県歯科衛生士会、東京都歯科衛生士会、福岡歯科大学、福岡医療短期大学
	7.11～7.17	調布市、東京都歯科衛生士会、福岡県歯科衛生士会、九州大学
7月	7.18～7.24	調布市、東京都歯科衛生士会、鹿児島県歯科衛生士会、鹿児島大学
	7.25～7.31	調布市、東京都歯科衛生士会、茨城県歯科衛生士会、大阪府歯科衛生士会

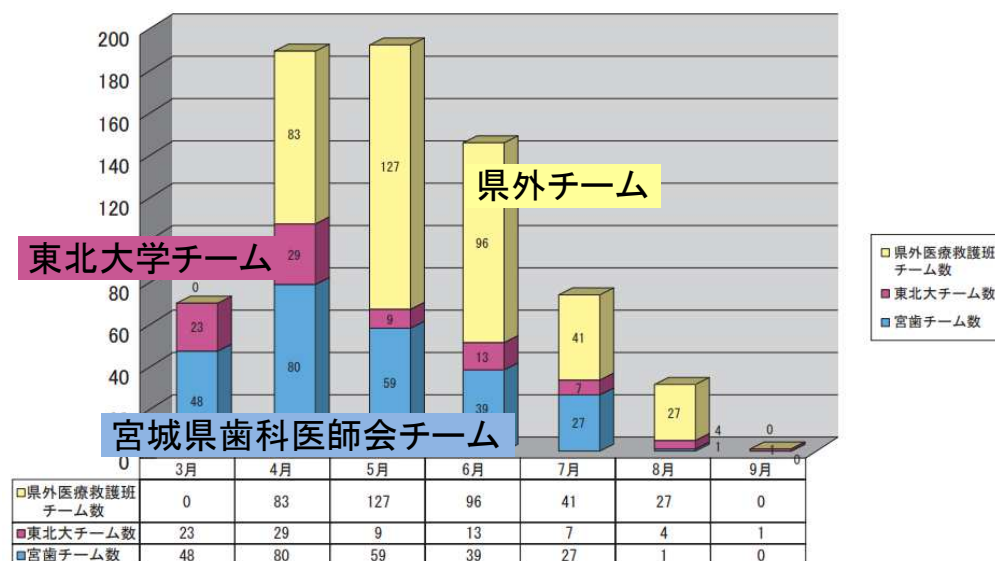
※ 都道府県・区市名は歯科医師会。

※ 8月は兵庫県歯科医師会が独自にチームを作っていた。1カ月間にわたり石巻地区に口腔ケア活動を展開していただいた。

東日本大震災報告書一震災後5年間の対応と今後の大規模災害対応に向けて一、
一般社団法人宮城県歯科医師会、平成29年3月11日発行

<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view03.html>

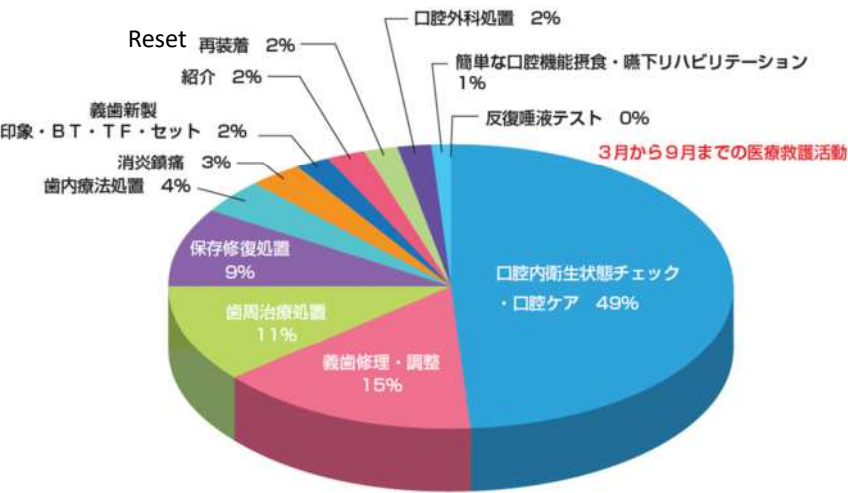
歯科医療救護 月別 派遣人数



東日本大震災報告書一震災後5年間の対応と今後の大規模災害対応に向けて一、
一般社団法人宮城県歯科医師会、平成29年3月11日発行

<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view03.html>

歯科医療救護活動の内訳(3月～9月まで)

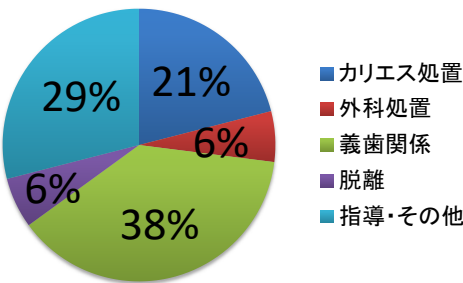


東日本大震災報告書—震災後5年間の対応と今後の大規模災害対応に向けて—
一般社団法人宮城県歯科医師会, 平成29年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view03.html>

過去の災害における応急歯科診療・歯科保健データ

岩手県歯科医療班 2011年4月～5月治療内容 (患者総数1457名、男性612名、女性845名)

処置内容別割合



岩手県歯科医師会報告書
2011. 3. 11 東日本大震災と地域歯科医療

カリエス処置

抜髄	12
根管処置	58
充填処置	110
普通処置・他	149
計	329

義歯関係

義歯調整	196
義歯修理	122
T-Cond	62
リベース	62
義歯新製	64
印象・BT	71
計	577

東日本大震災での 歯科技工所のダメージ？

東日本大震災に伴う 岩手県内歯科技工所被災状況調査

1. 調査方法及び調査数
2. 調査結果(回答数26件)

- ①調査方法

岩手県沿岸地区(大船渡・釜石・宮古・久慈保健所管内)の歯科技工所を対象に郵送による被害状況調査
- ②実施期間

平成24年5月15日から6月1日
- ③対象調査数

歯科技工所43事業所(内会員17名)
- ④回答数

歯科技工所26事業所(内会員15名)
- ①被害状況

(1)全壊 10件(内会員4件)

(2)一部損壊 3件(内会員3件)

(3)被害なし 13件(内会員3件)
- ②再開状況

(1)再開 12件(内会員8件)

(2)再開不可 2件(内会員0件)

1)転職 1件(内会員0件)

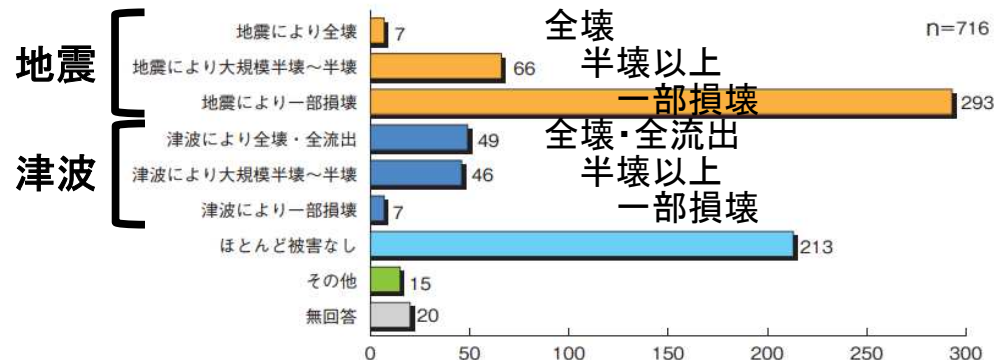
2)再開検討中 1件(内会員0件)

3)再開準備中 0件(内会員0件)

会員アンケート結果 — 平成 23 年 7 月実施 —
(n=716 全体回収率:62.97%)

調査回答者の所属支部会
仙 台:58.6% 石 巻:75.9%
塩 釜:79.5% 大 崎:59.3%
岩 沼:68.8% 登 米:51.5%
柴 田:62.2% 栗 原:64.5%
白 石:56.0% 気仙沼:86.1%
角 田:52.6%

Q1. Damage to Clinic Building 診療所建物の被害状況

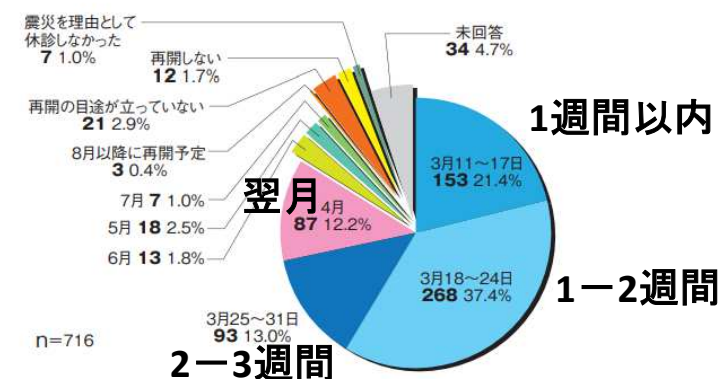


東日本大震災報告書—東日本大震災への対応と提言—
社団法人宮城県歯科医師会 平成24年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view01.html>

会員アンケート結果 — 平成 23 年 7 月実施 —
(n=716 全体回収率:62.97%)

調査回答者の所属支部会
仙 台:58.6% 石 巻:75.9%
塩 釜:79.5% 大 崎:59.3%
岩 沼:68.8% 登 米:51.5%
柴 田:62.2% 栗 原:64.5%
白 石:56.0% 気仙沼:86.1%
角 田:52.6%

Q6. 診療を再開できたのはいつですか？

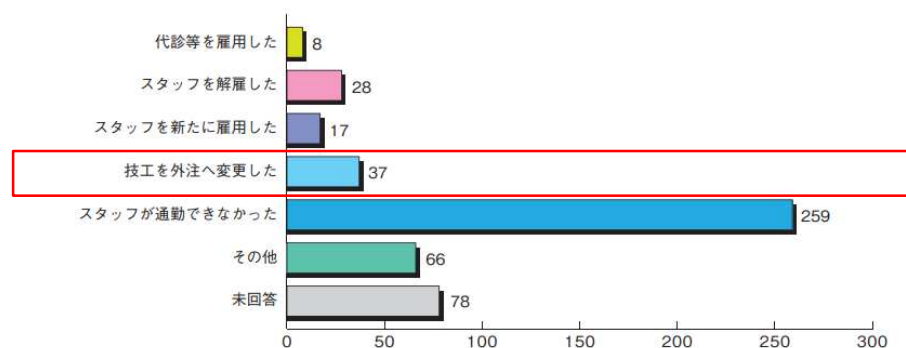


東日本大震災報告書—東日本大震災への対応と提言—
社団法人宮城県歯科医師会 平成24年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view01.html>

会員アンケート結果 — 平成 23 年 7 月実施 —
(n=716 全体回収率:62.97%)

調査回答者の所属支部会
仙 台:58.6% 石 巻:75.9%
塩 釜:79.5% 大 崎:59.3%
岩 沼:68.8% 登 米:51.5%
柴 田:62.2% 栗 原:64.5%
白 石:56.0% 気仙沼:86.1%
角 田:52.6%

A. 非常時の診療体制での人的な対策 (複数回答)

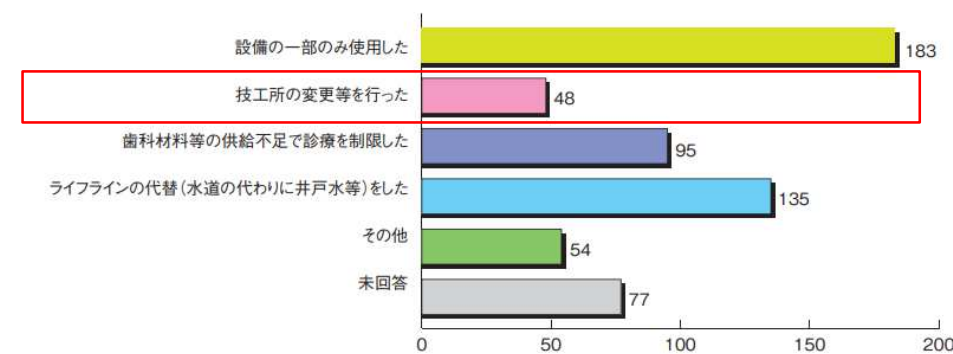


東日本大震災報告書—東日本大震災への対応と提言—
社団法人宮城県歯科医師会 平成24年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view01.html>

会員アンケート結果 — 平成 23 年 7 月実施 —
(n=716 全体回収率:62.97%)

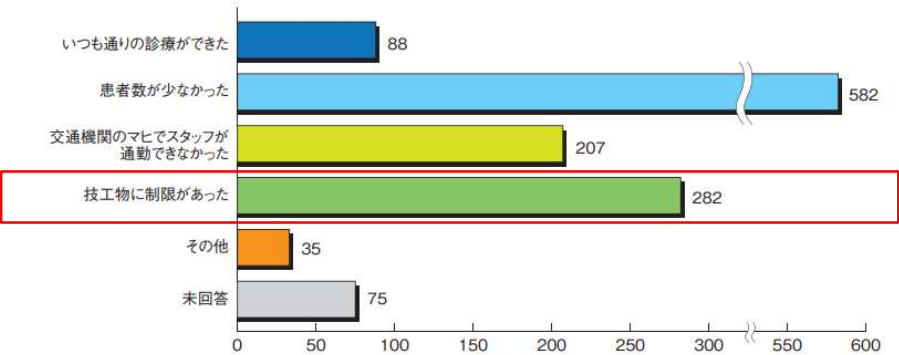
調査回答者の所属支部会
仙 台:58.6% 石 巻:75.9%
塩 釜:79.5% 大 崎:59.3%
岩 沼:68.8% 登 米:51.5%
柴 田:62.2% 栗 原:64.5%
白 石:56.0% 気仙沼:86.1%
角 田:52.6%

B. 非常時の診療体制での設備・資材等 (複数回答)



東日本大震災報告書—東日本大震災への対応と提言—
社団法人宮城県歯科医師会 平成24年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view01.html>

Q9. 診療再開後の状況 (複数回答)



東日本大震災報告書—東日本大震災への対応と提言—
社団法人宮城県歯科医師会 平成24年3月11日発行
<https://www.miyashi.or.jp/Shinsai/view01.html>

東日本大震災 被災会員調査(宮城県)
日本歯科医師会, H26.3.20

H26.3.20	宮城県	%
県内の被災前とほぼ同じ場所で診療所やテナントを開設して再開している	81	65.9
県内の新しい場所で診療所やテナントを開設して再開している	21	17.0
仮設診療所で再開している	4	3.3
県内の医療機関に勤務している	1	0.8
再開の準備中であるが診療していない	2	1.6
再開の意思がなく、診療していない	14	11.4
	123	100.0

【経験・検討】
応急歯科診療における補綴物作成

即時義歯作成マニュアル

- どこにでもある材料
- 時間をかけない
- 一定期間「機能」
(3カ月程度)



通常の方法 (全部床・上下)		大規模災害時の 即時義歯 (全部床・上下)	
ステップ	分	ステップ	分
概形印象	10	アルジネート印象	10
研究用模型製作	60	作業用模型製作	10
個人トレー製作	25	-	
精密印象	30	-	
作業用模型製作	90	-	
咬合床製作	70	-	
咬合採得	15	咬合採得	10
咬合器装着	60	咬合器装着	10
-		基礎床製作	10
人工歯排列・歯肉形成	120	人工歯排列	10
埋没・流蠟	100	-	
填入・レジン重合・ 掘り出し	150	歯肉形成	10
咬合調整～完成	170	形態修正・完成	10
計	900	計	80
15時間		1時間20分	



即時義歯

- 大規模災害時の必要性はどのくらい？
－これからのニーズは減る方向にあるかもしれないが、身近な材料で、条件が整わない場で試しておくことは大きな経験となる
- 「アウトドア」のような楽しみ方ができれば、訪問での歯科技工の負担感も減るかもしれない
- 歯科医師でも、補綴科とかは自分で作りたがる人もいるが、広い視野で“効率的”な対応を考えると、歯科技工は歯科技工士との連携で実施すべきと考える

【経験】 中長期的な活動

義歯の清掃・研磨

東京民医連歯科支援第3陣(3月26日(土)～29日(火))石巻市
いれ歯洗い隊(代々木歯科・川島診療所歯科、東京都保険医協会)



(石巻市立山下小学校 3/28AM)



(石巻好文館高校 3/28PM)

重曹水にハッカエキスを少し入れていれ歯にスプレーしてブラッシングし、歯石などはインスルメントで除去し、再度重曹水を吹きかけて汚れを落とすという行程で、爽やかだと好評だった。

神奈川県歯科師会 Japan Dt Aid
10月8-9 石巻 11月5-6 大船渡 1月21-22 陸前高田 4月14-15 富岡町



			依頼者数	義歯床数
10月8日	石巻市	渡波第一仮設住宅	15	29
10月8日	石巻市	渡波第二仮設住宅	18	36
10月9日	石巻市	万石浦仮設住宅	29	53
11月5-6日	大船渡市	いわて三陸復興食堂 福祉の里	58	111
1月21-22日	陸前高田市	高田ドライビングスクール	16	30
4月14-15日	富岡町	生活復興支援おたがいさまセンター		
		合計	136	259



宮城県女川町
【動かそう！～心も体も
ぽっかぽか～】

平成24年1月15日



宮城県女川町
健康をつくる町民のつどい
平成24年10月8日



参考

歯科技工士関係



砂書房,
2011年,
3080円

1. 歯科として対応すべき災害とは？
 2. 歯科医院としての災害への備え
 3. 歯科としての災害時健康危機支援対策
 4. 災害時の口腔ケアマニュアル
 5. 災害時の即時義歯製作マニュアル
 1. 即時義歯の必要性
 2. 技工士会の対応と技工用品のストック
 3. 即時義歯の作成方法の比較
 6. 災害歯学教育
 3. 歯科技工士に対する災害歯学教育の現状と今後
 7. パンデミックへの歯科としての対応
 8. 各地域における災害への対応と対策
- コラム
- DMATとは
DMORTとは
災害の時期と活動現場からみた災害看護の役割
- 資料
- 大規模災害発生時における歯科保健医療の役割(パンフレット)
大規模災害発生時における口腔ケア活動の意義と実際(パンフレット)

歯科技工士関係



一世出版,
2015年,
2200円

- 1 災害時の保健医療における歯科
- 2-1 災害時の歯科保健医療対応 歯科医療支援、歯科医療体制の継続
- 2-2 災害時の歯科保健医療対応 口腔ケア／歯科保健支援
- 2-3 災害時の歯科保健医療対応 即時義歯への対応

即時義歯(即日義歯)の必要性～東日本大震災を経験して～
被災県内における歯科技工士の対応～東日本大震災の経験から～
歯科技工士による災害支援活動～東日本大震災における実践～
即時義歯の製作方法別の特徴
- 3 歯科医院／歯科医師会としての災害対策
- 4 歯科における災害教育／研修

歯科技工士学生に対する災害教育の現状と今後
- 5 災害時の精神・心理的ストレス
- 6 連携する職種における災害への準備
- 7 地域における経験

5 災害対策（災害発生時の対応）●即時義歯

表1 岩手県歯科技工士会「巡回歯科診療ボランティア活動」活動実績

日程	治療人数	技工工作人数	作成技工物内容	日程	治療人数	技工工作人数	作成技工物内容		
4月1日	金	24	12	印象採得、咬合床1、義歯修理7	5月3日	火	18	3	義歯修理1、増歯1、クラスプ修理1、バイト3
4月2日	土	不明	2	仮歯2、人工歯脱離1	5月6日	金	10	6	クラスプ修理、リベース、床修理、増歯、仮歯
4月4日	月	3	1	義歯増歯	5月7日	土	40	3	義歯修理
4月6日	水	不明	3	総義歯破折修理、増歯、PD作成	5月9日	月	不明	7	義歯修理
4月7日	木	不明	不明	義歯調整1、石膏4、ロウ堤PD1、総義歯2	5月10日	火	19	7	義歯セット3、クラスプ修理1、義歯修理1、バイト2
4月9日	土	30	9	上下総義歯作成、上下FPD製作、上顎PD製作、義歯修理(破損、増歯)	5月12日	木	25	6	咬合床、増歯、増床、新規作製、リベース削除
4月11日	月	6	1	義歯修理	5月13日	金	14	0	
4月12日	火	11	3	咬合床、リベース、研磨	5月14日	土	不明	不明	修理、研磨
4月13日	水	16	2	増歯、仮義歯、研磨	5月16日	月	19	6	人工歯脱離2、上顎総義歯印象、義歯調整、印象模型
4月14日	木	30	1	上総義歯作成1	5月17日	火	21	2	義歯セット2、義歯調整3、リベース研磨1、バイト2
4月15日	金	不明	0		5月18日	水	25	8	上下PD修理
4月16日	土	不明	10		5月19日	木	26	4	咬合床、増歯、新規作製、研磨
4月18日	月	8	4	即時義歯、屈曲、修理	5月20日	金	30	8	義歯製作6、修理2
4月19日	火	23	7	咬合床、増歯、作業模型づくり、義歯修理	5月21日	土	不明	不明	修理、研磨
4月21日	木	不明	2	咬合床3	5月23日	月	24	9	義歯修理、義歯調整
4月22日	金	—	—	(4月9日に合算されて報告)	5月24日	火	不明	2	義歯セット2
4月23日	土	26	4	PD作成、調整、増歯	5月25日	水	24	6	義歯修理
4月26日	火	不明	0		5月26日	木	19	5	義歯修理、増歯、研磨
4月27日	水	9	5	義歯修理、義歯調整	5月27日	金	27	3	義歯修理3
4月28日	木	20	10	クラスプ製作1、増歯1、義歯修理4	5月28日	土	不明	0	
4月30日	土	15	3	義歯修理、増歯					
5月2日	月	14	2	義歯修理、増歯、クラスプ修理					



被災県内における歯科技工士の対応～東日本大震災の経験から～
災害時の歯科保健医療対策、一世出版、2015年、

歯科技工士関係



医歯薬出版,
2018年,
7200円

- CHAPTER 1 災害時の保健医療
CHAPTER 2 災害の種類と歴史
CHAPTER 3 災害対策概論
CHAPTER 4 災害時の医療体制と歯科のかかわり
CHAPTER 5 災害時の歯科保健医療体制
CHAPTER 6 災害時の歯科治療
 - 1 被災地における歯科医療の目的
 - 2 被災地における歯科医療の回復に向けて
 - 3 平常時の歯科治療との違い
 - 4 災害時の歯科治療に必要なもの

4. 即日義歯
- CHAPTER 7 災害時の歯科保健
CHAPTER 8 災害時の身元確認
CHAPTER 9 事例から学ぶチーム医療
 - 2 災害時の歯科技工士の役割-東日本大震災の事例から-
付 災害を経験して-それぞれの立場から-

20240123
珠洲市
JDAT



20240130
輪島市
訪問診療



20240214
能登町
JDAT



20240305
珠洲市
JDAT



Q

仮設診療所における 歯科技工？

東京都における取り決め

- ・ ガイドライン
- ・ 協定



東京都歯科保健推進計画 「いい歯東京」

概要版

都民のみなさんが、いつまでも健康に暮らすために、歯と口の健康はとても大切です。
この計画は、都民のみなさんが目指す姿を掲げ、自ら実践をしてもらいたいことと、
そのために東京都が総合的に進める歯科保健施策を盛り込んで策定しました。



ライフステージに応じた
歯と口の
健康づくりの推進

かかりつけ歯科医での
予防管理の定着・
医科歯科連携の推進

地域で支える
障害者歯科医療
の推進

在宅療養者の
QOLを支える
在宅歯科医療体制の推進



「いい歯東京」における都民の目指す姿と計画の柱

都民の
目指す姿

都民がいつまでもおいしく食べ、笑顔で人生を過ごすことができること

都民が
実践する
3つの取組

コミュニティケア

区市町村、学校、
職場等において
歯科健診や健康
教育等を受ける

セルフケア

日常的に
自ら口腔ケアに
取り組む

プロフェッショナルケア

かかりつけ歯科医を
持ち、定期的に保健
指導や歯科健診、予
防処置（フッ化物塗布
等）を受ける

ライフステージに応じた
歯と口の健康づくり
の推進
注1

乳幼児期



う蝕の予防
口腔機能の獲得

学齢期



う蝕・歯肉炎の予防

成人期



歯周病の予防

高齢期



口腔機能の
維持・向上

かかりつけ歯科医での
予防管理の定着・
医科歯科連携の推進
注2

地域で支える
障害者歯科保健医療
の推進
注3



在宅療養者の
QOLを支える
在宅歯科医療体制の推進
注4



重点事項 健康危機（大規模災害等）に対応した歯科保健医療対策の推進

東京都 保健医療局
Bureau of Public Health

保健医療局の分野別 福祉局の分野別 組織情報 採用情報 届け出・申請 計画・審議会 お知らせ Language

健康づくり・保健政策 医療政策 感染症対策 食品・医薬品の安全 生活環境の衛生・動物愛護 保健・医療を支える体制づくり

保健医療局トップ > 医療政策 > 医療・保健施策 > 東京都の歯科保健対策 > 東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」
> 東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」（第一次改定）

東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」（第一次改定） 令和4年度東京都歯科保健推進

医療・保健施策

- 医療機関におけるデジタル化の支援について
- 医療機関における電子処方箋の活用・普及の促進事業
- 妊産婦の皆へ
- オンライン歯科診療等
- オンライン診療等
- 在宅療養
- 看護人材確保対策
- 都民の医療に対する理解促進
- 東京都医療審議会
- 外国人のためのTOKYO医療情報サイト

東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」（第一次改定）
更新日：2024年4月23日

東京都歯科保健推進計画
「いい歯東京」
第一次改定 | 令和6年3月

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/shikahoken/mokuhyo/shikakeikaku1kai

表32 区市町村における災害時の歯科保健医療活動に関する対応状況

項目	令和4年度
地域防災計画等において、災害時の歯科保健医療活動に関する記載がある区市町村	43自治体
災害時の歯科保健医療活動に関するマニュアルがある又は医療救護活動マニュアル等に歯科保健医療活動に関する記載がある区市町村	11自治体
災害時の歯科保健医療活動に関する研修を実施している区市町村	7自治体
災害時用の口腔衛生用品を備蓄している区市町村	23自治体

資料：東京都「災害時の歯科保健医療活動に関する調査」（令和5年度）

（2）取組の方向性

- 災害時歯科医療救護活動ガイドラインを改定し、歯科保健活動に関する内容を充実させます。
- 大規模災害の発生に備えるため、区市町村が平時から関係部署や関係団体等と連携し、災害時の歯科保健医療活動に取り組むことができるよう、人材の育成を支援していきます。
- 災害発生直後に不足しがちな口腔衛生用品について、区市町村による備蓄等の対応を促すとともに、都民が防災用に備蓄しておく必要性についても普及啓発していきます。

（3）参考指標

項目	基準値	目標値
災害時の歯科保健医療活動に関するマニュアルを整備している区市町村の数	11自治体（令和5年度）	全自治体

東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」（第一次改定） 2024年4月23日
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/shikahoken/mokuhyo/shikakeikaku1kai

東京都 保健医療局 Bureau of Public Health

音声読み上げ・文字拡大・色合い変更 やさしい日本語

保健医療局の分野別 福祉局の分野別 組織情報 採用情報 届け出・申請 計画・審議会 お知らせ

健康づくり・保健政策 医療政策 感染症対策 食品・医薬品の安全 生活環境の衛生・動物愛護 保健・医療を支える体制づくり

保健医療局トップ > 医療政策 > 医療・保健施策 > 東京都の歯科保健対策 > 資料・報告書 > 災害時歯科医療救護活動ガイドライン

障害者歯科医療の推進に向けた調査報告書 災害時歯科医療救護活動ガイドライン < >

災害時歯科医療救護活動ガイドライン

更新日：2025年6月30日

「災害時歯科医療救護活動ガイドライン」（平成29年12月策定）を改定し、令和7年3月に「災害時歯科保健医療活動ガイドライン」を策定しました。

[災害時歯科保健医療活動ガイドライン](#)

お問い合わせ

医療政策部医療政策課 歯科医療担当

電話 03-5320-4433

記事ID：115-001-20240726-005236

医療・保健施策

- 医療機関におけるデジタル化の支援について
- 医療機関における電子処方箋の活用・普及の促進事業
- 妊産婦の皆様へ
- オンライン歯科診療等
- オンライン診療等
- 在宅療養
- 看護人材確保対策
- 都民の医療に対する理解促進
- 東京都医療審議会
- 外国人のためのTOKYO医療情報サ

エ 東京都

都は、二次保健医療圏に設置された医療対策拠点から派遣要請を受けた時、又は都が必要と判断した時は、区市町村の歯科保健医療活動を応援・補完する立場から、東京都歯科医師会に対し、都歯科医療救護班の派遣を要請します。

オ 東京都歯科医師会

東京都歯科医師会は、自らが定めた行動計画に基づき、東京都歯科医師会災害対策本部を設置し、まずは、会員や職員の安否を確認し、歯科診療所の被害状況の把握に努めます。

都から都歯科医療救護班の派遣要請を受けた後、東京都歯科衛生士会や東京都歯科技工士会等と協力して都歯科医療救護班を編成し、指定の場所に派遣します。その際、交代要員も含めて必要な班数を確保します。

カ 都歯科医療救護班

都歯科医療救護班は、参集場所において、地域災害医療コーディネーター、区市町村災害医療コーディネーターなどが決定した活動方針を確認し、主に医療救護所で、歯科医療を要する傷病者に対する応急歯科診療や歯科保健指導を行い、トリアージへの協力などを行います。

医療救護所では、区市町村によって地区医師会等から選任された指揮者の指示に基づき、地区歯科医療救護班と連携して歯科保健医療活動を行います。

〔表 26：都歯科医療救護班の編成〕

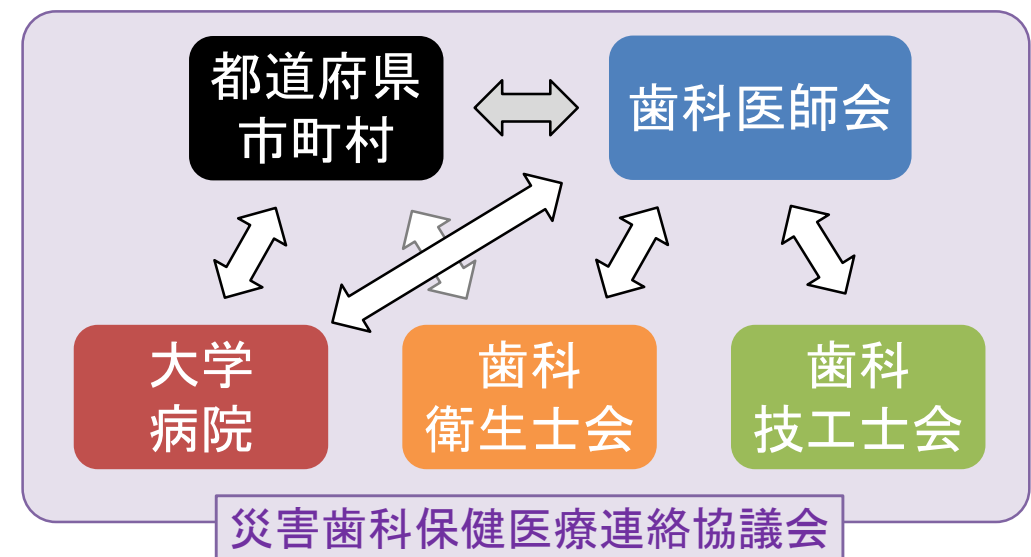
	班数	歯科医師	歯科衛生士 歯科技工士	その他
東京都歯科医師会	110	1	1	1

災害時歯科保健医療活動ガイドライン 令和7年3月 東京都保健医療局
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/2025-06-25-174751-661>

東京都における取り決め

- ・ ガイドライン
- ・ 協定

災害時の歯科医療救護活動に関する協定



都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」

② 都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」
東京市（以下「甲」という。）と社団法人東京都歯科医師会（以下「乙」という。）との間で締結した災害時の歯科医療救護活動についての協定書（平成8年2月1日）の全部を次のように改正する。
（総 則）
第1条 この協定は、東京都地域防災計画に基づき、甲が行う医療救護活動に対する乙の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。
（歯科医療救護班の派遣）
第2条 甲は、東京都地域防災計画に基づき歯科医療救護活動を実施する必要がある場合は、乙に対し、歯科医療救護班の派遣を要請するものとする。
2 乙は、前項の定めにより、甲から要請を受けた場合には、直ちに、乙の災害医療救護活動組織に基づき歯科医療救護班を編成し、現地の救護所等に派遣するものとする。
（災害医療救護計画の策定及び提出）
第3条 乙は、前条の定めによる歯科医療救護活動を実施するため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。
2 前条に定める歯科医療救護班の構成人員は、次のとおりとする。
（1）歯 科 医 師
（2）歯科衛生士又は歯科技工士等
（3）その他の補助事務
（歯科医療救護班の活動場所）
第4条 乙所属の歯科医療救護班は、甲が避難所等に設置する救護所において、歯科医療救護活動を実施するものとする。

平成11年6月28日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
甲 東京都
代表者 東京都知事 石 原 慎太郎
東京都千代田区九段北四丁目1番20号
乙 社団法人東京都歯科医師会
代表者 会 長 西 村 誠

一 乙は、甲から要請を受けた場合は、直ちに、乙の災害医療救護活動組織に基づき歯科医療救護班を編成し、現地の救護所等に派遣するものとする。
（歯科医療救護班の派遣）
第2条 甲は、東京都地域防災計画に基づき歯科医療救護活動を実施する必要がある場合は、乙に対し、歯科医療救護班の派遣を要請するものとする。
2 乙は、前項の定めにより、甲から要請を受けた場合には、直ちに、乙の災害医療救護活動組織に基づき歯科医療救護班を編成し、現地の救護所等に派遣するものとする。
（災害医療救護計画の策定及び提出）
第3条 乙は、前条の定めによる歯科医療救護活動を実施するため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。
2 前条に定める歯科医療救護班の構成人員は、次のとおりとする。
（1）歯 科 医 師
（2）歯科衛生士又は歯科技工士等
（3）その他の補助事務
（歯科医療救護班の活動場所）
第4条 乙所属の歯科医療救護班は、甲が避難所等に設置する救護所において、歯科医療救護活動を実施するものとする。

② 都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」

東京都（以下「甲」という。）と社団法人東京都歯科医師会（以下「乙」という。）との間で締結した災害時の歯科医療救護活動についての協定書（平成8年2月1日）の全部を次のように改正する。

（総 則）

第1条 この協定は、東京都地域防災計画に基づき、甲が行う医療救護活動に対する乙の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。

（歯科医療救護班の派遣）

第2条 甲は、東京都地域防災計画に基づき歯科医療救護活動を実施する必要がある場合は、乙に対し、歯科医療救護班の派遣を要請するものとする。

2 乙は、前項の定めにより、甲から要請を受けた場合には、直ちに、乙の災害医療救護活動組織に基づき歯科医療救護班を編成し、現地の救護所等に派遣するものとする。

（災害医療救護計画の策定及び提出）

第3条 乙は、前条の定めによる歯科医療救護活動を実施するため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。

2 前条に定める歯科医療救護班の構成人員は、次のとおりとする。

- (1) 歯 科 医 師
(2) 歯科衛生士又は歯科技工士等
(3) その他の補助事務
- 若干名

（歯科医療救護班の活動場所）

第4条 乙所属の歯科医療救護班は、甲が避難所等に設置する救護所において、歯科医療救護活動を実施するものとする。

都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」平成11年6月28日

（歯科医療救護班の活動場所）

第4条 乙所属の歯科医療救護班は、甲が避難所等に設置する救護所において、歯科医療救護活動を実施するものとする。

（歯科医療救護班の業務）

第5条 歯科医療救護班の業務は、次のとおりとする。

- (1) 歯科医療を要する傷病者に対する応急処置
(2) 後方医療施設への転送の要否及び転送順位の決定
(3) 避難所内における転送困難な患者及び軽易な患者に対する歯科治療・衛生指導
(4) 検死・検案に際しての法医学上の協力

（指揮命令）

第6条 歯科医療救護班に係る指揮命令及び医療救護活動の連絡調整は、甲が指定するものを行うものとする。

（医療救護班の輸送）

第7条 乙所属の歯科医療救護班の輸送は、原則として甲が行う。

（医薬品等の備蓄・輸送）

第8条 乙所属の歯科医療救護班は、原則として、甲が別に定める場所に備蓄する医薬品等を使用するものとする。

2 救護所において必要とする給食及び給水は、甲が行う。

3 備蓄医薬品等の輸送は、原則として甲が行う。

（医療費）

第9条 救護所における医療費は、無料とする。

（合同訓練）

第10条 乙は、甲から要請があった場合は、甲が実施する合同訓練に参加するとともに、当該訓練の一般参加者中、傷病者が発生した場合の歯科医療救護を併せ担当するものとする。

（費用弁償等）

第11条 甲の要請に基づき、乙が歯科医療救護活動等を実施した場合に要する次の経費は、甲が負担するものとする。

(1) 歯科医療救護班の編成、派遣に伴うもの

ア 歯科医療救護班の編成、派遣に要する経費

イ 歯科医療救護班が持参した医薬品等を使用した場合の実費弁償

ウ 歯科医療救護班の医師等が歯科医療救護活動において負傷し疾病にかかり、又は死亡した場合

(2) 合同訓練時における歯科医療救護活動の前(1)に係る経費

2 前項の定めによる費用弁償等の額については、甲乙協議の上、別に定めるものとする。

（災害医療運営連絡会への参画）

第12条 乙は、この協定の円滑な実施を図るため、甲が必要と認める関係機関をもって構成する東京都災害医療運営連絡会へ参画するものとする。

（細 目）

第13条 この協定を実施するための必要な事項については、別に定める。

（協 議）

第14条 前各条に定めのない事項については、甲乙協議の上、決定するものとする。

甲と乙とは、本協定書を2通を作成し、双方記名押印の上、その1通を保有する。

平成11年6月28日

都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」平成11年6月28日

都歯科医師会「災害時の歯科医療救護活動についての協定書」平成11年6月28日

東京都の保健所



多摩地区5か所(西多摩・南多摩・玉立川・多摩小平・多摩府中)

特別区(23区)

中核市(八王子市)

保健所政令市(町田市)

+ 島しょ

東京都歯科技工士会「生涯研修」(東京都委託事業)2026年7月26日
災害時の歯科口腔保健とは？アセスメントを記載してみて、考えよう！

災害時の歯科対応 と歯科技工士

- 経験
- 法的根拠
- 可能性

【考察】

歯科技工所の被災状況の把握？

歯科技工所の被災状況の把握？

- 歯科医師会の多くは、安否確認システムを入れている
- 内容や、運用は定まったものはないので、本来は定める必要がある
- 自治体の医療管理としても、とても必要で助かるところ
- 歯科技工所の被災状況の把握のシステムは？
- 派遣においては、派遣できる人しか求められない
- 被災においては、歯科医師会からは求められる

災害救助法対応はいつまで？

- この情報がないと、支援として技工をするのか、もしくは地域でお任せするのか、判断が難しい
- 災害救助法の対応（災害医療）の期限は、「医療」全般で決まるが、その間は保険診療ではない無償の医療が併存することになる
- （健康保険の自己負担が減免となる被災者にとってはいずれにせよ変わらないが、事業者にとっては収入が入るかどうかなという大きな違い）

【考察】

歯科技工所の再開・復旧支援？

伝え聞いた被災の話

- 歯科技工士会からは、安否の確認はあったが、歯科技工所の被災についての詳細は無し
- 仕事できない間に歯科支援に参加したかったが参加の仕方もわからなかった
- 器材の破損に対してはメーカーに依頼、3ヵ月預かりの間は近隣の歯科技工所に器材を借りに行った（災害前から関係のある所）
- 歯科技工所の再開や運営の支援情報は無し、商工会などに頼るしかなかった
- 日本歯科技工士会からの義援金は来て、助かった

【可能性】

JDATでの派遣

JDATでの歯科技工士の派遣

- 歯科技工士会で行けるのか
- 大学の歯科技工士とかを入れるのか
 - 大学の歯科技工士は歯科技工士会に入っているか
- 大手の人数を抱えているラボから出してもらうか
- 歯科医師会にJDATの名簿を提出するために、既に検討してある？

JDATでの歯科技工士の派遣

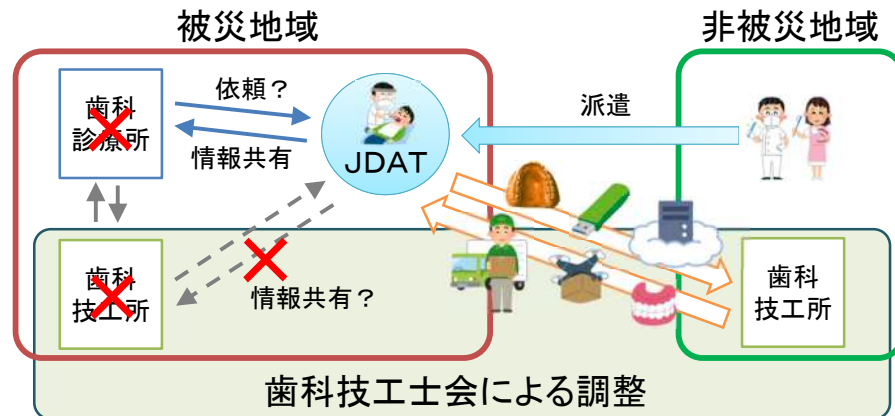
- 災害救助法での派遣医療職としての記載には「歯科技工士」が入った(令和7年7月1日 施行)
- 災害対策基本法を根拠として作られる計画や協定に、記載があるかがポイント
 - 具体的に「歯科技工士」の記載は無くとも、歯科専門職「等」の記載があれば必要時差し支えない
- 災害救助法での費用支弁は1日単位で規定されている

【可能性】
遠隔支援？就労支援？

今後更に、効率は求めざるを得ない

- 寒い、器材 → 効率悪い
- 人材不足 → 負担大きい
- 光学印象
- 物流(ドローンなど含む)

遠隔からの歯科技工支援の可能性



歯科技工士を被災地に派遣しての歯科技工体制は、今後さらに人材確保が困難となることが予想される。被災地では歯科技工の効率も落ちるため、物流やデータ送信を前提とした遠隔での効率的な歯科技工支援の可能性も検討すべきと考える。物流の回復前であれば、JDATの宿舎までの経路上に歯科技工を提供する場を設定することにより、JDATの被災地域への出入り時に運搬することも可能となる。

日本歯技 2024年8月号

【可能性】
身元確認における歯科所見？

災害時に歯科技工士が
最も優先してすべきことは？



災害時の歯科技工士のすべきこと

- 歯科衛生士は生きている人の体調を保ち、災害関連疾病にさせない口腔ケアを優先すべき。
- 歯科としてすべき優先度の高いことは何か？
（歯科医師をトリアージに活用することは本質的？）歯科支援活動も大切だが、根本的には、歯科診療所の可及的早期再開と平常化、つまり、歯科診療体制の再開・再構築であるはず。
- では、歯科技工士は何を優先すべき？

歯科技工提供体制の確保（継続）？

歯科技工（受注・提供）のBCP

災害医療 vs 保険診療（減免）

- 災害時に被災者に対する医療支援として行われる医療における費用負担は無い
- 保険診療でも自己負担が減免（0割負担）となれば、被災者としては無料
- しかし、事業者からすれば大きく違うものとなる

歯科診療所の再開に必要なもの

- 建物・駐車場など設備
- 電気／ガス／下水道／上水道（タンクやボトルでの給水も可）
- ユニット等資器材
- スタッフ
- 歯科技工所
- 宅急便
- 他

BCP(事業継続計画)

NHK

自然災害や感染症など緊急事態が発生した際、重要な事業を継続させること、もし中断しても可能な限り短期間で復旧させるための方法や体制を示す計画

- ✓ 想定事象は災害だけではない(感染症やテロ、システム障害など)
- ✓ 「BCP」と「防災計画」は異なる
- ✓ 法律で義務づけられてはいないが、

影響が全国に及ぶことがあり重要性 高まる
(介護事業所では、2024年4月からBCPが義務化)

NHK 災害の備え 災害 その時どうする 2023.02.24
BCPとは… あなたの企業は？ どうやって作る？

BCP

歯科
診療所

が守るべきものとは

NHK

従業員の
命と安全

- ✓ 従業員の安全確保「安全配慮義務」
※従業員がいなければ事業継続難しい
スタッフ(とその家族を含む生活環境)を守る

歯科
診療所の
重要業務

- ✓ 歯科を通じて地域住民の健康を守ること
- ✓ 災害時要配慮者の口腔健康管理
- ✓ 業界団体(歯科医師会など)での相互支援

地域への
協力・貢献

- ✓ 診療所の早期再開・口腔衛生用品の提供
- ✓ 避難所・福祉避難所・施設などへの訪問歯科保健活動

NHK 災害の備え 災害 その時どうする 2023.02.24
BCPとは… あなたの企業は？ どうやって作る？

あらゆる町に住む方々の生活を支えるインフラとなる。これがゲンキーの使命です。



経営理念

われわれは、熱意を持って日本国の国家と国民に信頼されるチェーンストアを創り、地域の人の生活向上に貢献します。

六精神

- 一、商業を通じ、健康・文化・生活向上に寄与貢献する。
- 一、お客さまの立場に立って、正しい商いを続ける。
- 一、働く仲間は、和をもって親しくする。
- 一、日々力を尽くし、心の充実を得る。
- 一、やさしさと礼節ある行動を尊ぶ。
- 一、感謝の心であらゆる恩に報いる。



2024/1/11

北陸

天井崩落、従業員はガラスを割って店内に 奥能登のゲンキー全店が震災翌日に営業できた理由

中日新聞 2024年3月9日 05時05分 (3月9日 12時00分更新)

奥能登ブロック長兼河井店の長屋俊樹店長(38)

元日が休業で店内に誰もいなかったのは、不幸中の幸いで365分の1の奇跡。輪島市内の社宅で被災し、2日昼ごろに店を開けたが、今思えば元日の夜から営業すればよかった。どの店にも共通しているのは、住民も自分たちと同じように被災しているのだから「こういう時にこそ」との使命感で店を開けてくれたこと



野々江店の市川智貴店長(22)

輪島市町野町の実家で被災し避難所生活を送っていた。上司との電話で2日から営業しているのを知り、「マジか、うそやろう」と思った。正直に「しんどい」と伝えたが、4日夕方に店に行った。自分が店に着いた時ですら、洗剤の粉や酒の缶が床に散乱した状態だった



能登半島地震で大半の商業施設が臨時休業を余儀なくされる中、1月2日から予定通り営業した店があった。中部地方を中心に413店舗を展開するドラッグストア「ゲンキー」(本社・福井県坂井市)。それも奥能登4市町にある6店すべて。停電、断水、通信不通。何よりも従業員自身が被災者だった。あの時、従業員はどう動いたのか。

地震翌日から営業した奥能登のゲンキー6店

門前店の駒谷祥太店長(27)

元日に富山市の祖母宅に帰省中、テレビを見ていた家族から「これ、あなたの所じゃないの」と言われて被害を知った。2日から営業するため車で店に向かったが、石川県七尾市からは橋が崩れるなど「別世界」。迂回(うかい)せざるを得ずガソリンとの勝負だった



元日はゲンキー全店にとって、1年で唯一の休業日。石川県輪島市中心部にある河井店の店長（当時）、長屋俊樹さん（38）は実家のある岐阜県関市に帰省せず、輪島の社宅で静かな正月を過ごしていた。大きな揺れで5階にある部屋の中はぐちゃぐちゃになり、1階駐車場の車は建物に挟まって動かなくなった。

大津波警報を受けて高
り、建物内は危険なため
や食料品、紙おむつなど
本社との連絡は途絶え
る。何もせずにはいら

「命に直結、

元日夜、ドラッグスト
長の長屋俊樹さん（38）
落ちた商品で床が埋め

すぐに商品を運び出し
は輪島中学校で一夜を明
す長屋さんだが、店が本
翌2日朝、複数の従業員
片付けた。「取り扱うの
こういう時にこそ、やら
停電でレジが使えず、
に行けば、次々に押し寄
これは100円、こっちは
した。2日に営業した輪
が外まで続いた。カッ

停電でレジが使えず、正確な
値段が分からない。その都度
商品棚に値札を確認しに行け
ば、次々に押し寄せる客を寒
空の下で待たせることになる。
感覚を頼りに「これは100円、
こっちは200円という具合で、
お客さんに損させない値段」
で販売した。2日に営業した輪
島市内のドラッグストアはゲン
キーだけで、3日は長蛇の列
が外まで続いた。

の避難者であふれ返
ハ、避難者に配る水
があるのを知ってい



能登半島地震直後の1月2日から営業を再開させたゲンキー河井店の長屋俊樹店長＝石川県輪島市のゲンキー河井店で

「日常生活の支え」届く感謝の声

2日に営業したのは河井店だけではない。門前店の駒谷祥太店長（27）は、富山市の祖母宅に帰省中に地震に遭った。10人ほどの従業員の安否を確認し、すぐに約100キロ離れた店に車を走らせた。道路はあちこちで寸断され、迂回（うかい）しながら店に着いたのは日付が変わった午前2時ごろ。商品が散乱していたものの、パソコンは起動し、冷蔵庫と冷凍庫も動いていた。本社からの応援を得て開店にこぎ着けた。

3日からは午前9時～午後9時の通常営業を開始。地震直後は食料品などが購入できる地域で数少ない店だったため、駒谷さんは多くの客から「助かった」との声を聞いた。「店が地域の日常生活の支えになっている」と実感した。

野々江店（珠洲市）では、近くに住むアルバイトの女性が2日朝、非常口のガラスをハンマーで割って店に入った。天井が崩落して入り口がふさがっていたからだ。女性1人で店を開け、午後にはさらに数人のアルバイトが加わった。

本当に『最強』なのは被災地に踏みとどまり、震災直後から地域貢献し続けてくれた全ての社員、従業員です

5日ごろには物流も再開し、弁当なども棚に戻ったゲンキー。奥能登6店のブロック長を務めた長屋さんは、あの時を振り返って胸を張る。「本当に『最強』なのは被災地に踏みとどまり、震災直後から地域貢献し続けてくれた全ての社員、従業員です」

（山口哲人、佐久間博康、立石智保）

「従業員のほとんどは家が壊れていたりとか、まともな状態で生活はしていません。この医院も含めて水道も来ていないところが多く、そうした中で一生懸命自分の職務を果たそうとしてくれています。本当に助かっています」



「とにかく今この状況で患者さんを診させていただいているのは責任感というか、私だけじゃなくほかの医院もそうやって動いていると思います。やっぱりこういう仕事ですので、困っている人が1人でもいるのであれば無理やりにでも開院するっていうのが正しい選択だと思ってやっております」

「詰め物が外れた」「歯が痛いから診てほしい」。1月下旬に一部再開した輪島市の笹谷歯科には連日、患者数人が来院。治療途中で市外に避難した患者の診療相談にも電話で対応する。

笹谷俊郎（ささに・としろう）院長（43）は地震発生以降、市内の歯科医らと県内外から派遣されている「災害歯科支援チーム（JDAT）」の活動に同行し、避難所を巡回して診療に携わった。断水の影響で歯磨きが不十分となったり、入れ歯の掃除ができなくなったりするケースが多発。感染症の他、口腔内の細菌繁殖が主な原因とされる「誤嚥（ごえん）性肺炎」のリスクが高まり、災害関連死につながりかねない。

医院の建物は、地震による損壊を免れていた。笹谷さんは「口腔内の健康を守るのが歯科の役割。地域医療に貢献したい」との思いから、診療の再開に踏み切った。配給された水で治療に必要な水をまかなっている。



災害対応 → 対策・防災

直接支援
被災者支援

支援者支援
間接支援

災害支援
緊急援助



地域支援
地域防災

体制・準備



お近くの方
お伝えく
配布等に
承諾は不

いつもの生活を取りもどす！



いつもの生活を続けられる準備をしよう！

熊本地震で被災された皆さまへ
いつもの生活を取りもどすための
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ
2016年4月28日発行
2016年5月12日更新

熊本地震被災者応援ブック(内閣府) https://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/kumamoto_earthquake/book.pdf



日本歯科医師会
Japan Dental Association

国民のみなさま

歯科医師のみなさま

日本歯科医師会

歯科医師とは セミナー 各種資料等

HOME 会員あいさつ ENGLISH キーワード検索

HOME ▶ 歯科医師のみなさま ▶ 災害歯科保健医療対策

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT (日本災害歯科支援チーム)	▼ JDATロゴマーク
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会
▼ 日本歯科医師会の災害対策	▼ 計画・規程等
▼ 災害時の歯科保健医療、身元確認に関する根拠法等	▼ 都道府県歯科医師会が締結している協定等
▼ アクションカード・アセスメント票	▼ 避難所提示・配布用ポスター等
▼ これまでの災害対応<時系列>	▼ 災害歯科コーディネーター研修会
▼ 災害歯科保健医療・身元確認関連書籍	▼ 日歯HP 関連情報

● JDAT (日本災害歯科支援チーム)

JDAT (Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科医療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年(2022年)3月9日(日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設)により、

活動要領・研修会・e-learning
行動指針・規則
根拠法・協定
共通書式・アクションカード
参考資料・過去の情報
関連情報



歯8020テレビ

歯とお口の情報

日本歯科医師会
Japan Dental Association

災害時こそ大切！
お口のケア

<1>備えておくこと
<2>自分でできること

動画で一般向けに平易につくられています
(それぞれ6分ほど)
過去に災害時に地元ケーブルTVで放映されたこともあります

災害時こそ大切！お口のケア

ダウンロード
500KB (27.3MB)
1.5MB (124MB) <1>備えておくこと (60.0MB)

ダウンロード
500KB (27.3MB)
1.5MB (124MB) <2>自分でできること (67.2MB)

歯科衛生士のお仕事

ダウンロード
500KB (27.3MB)
1.5MB (124MB) <1>多様な活躍現場 (65.1MB)

ダウンロード
500KB (27.3MB)
1.5MB (124MB) <2>他職種との連携 (71.8MB)



厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業 研修会(2026年度現在)赤字は2024年度から

JDATロジスティクス研修会(計画中)

- 各構成団体におけるJDAT事務局関係者が主な対象
- 2024年度からロジスティクス基礎研修会をオンライン開催

JDATアドバンス研修会(2020年度～)

- 対象は各構成団体よりの推薦者
- 東京にて年3回(地域別)、実地
- 事前動画・事前課題あり、当日は意見交換が主体

JDAT標準研修会(2018年度～(旧:体制研修会))

- eラーニング(標準編1時間)による事前研修あり、演習は5時間
- 基本は地域開催(主催:各構成団体及び傘下団体)、対象は主催者で設定可
- 日本歯科医師会開催は年1回:オンデマンド動画+実地演習、各構成団体の推薦者)

JDAT基礎研修会(2024年度～)

- eラーニングのみ(基礎編2時間30分)
- どなたでも、いつでも、もちろん無料!
- PDFにて修了証発行

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



日本歯科医師会
Japan Dental Association

国民のみなさま

歯科医師のみなさま

日本歯科医師会

歯科医師とは

セミナー

各種資料等

歯科医師・学生

E-system

女性歯科医師



HOME



会員あいさつ



ENGLISH



キーワード検索



検索



メンバーズルームログイン

HOME ▶ 歯科医師のみなさま ▶ 災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

▼ JDAT (日本災害歯科支援チーム)

▼ 災害歯科保健医療eラーニング

▼ JDATアドバンス研修会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ JDATロゴマーク

▼ JDAT標準研修会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療対策

災害歯科保健医療eラーニング

基礎編の受講・研修登録はこちら

標準編の受講・研修登録はこちら
※基礎編修了後の受講を推奨します

研修受講に当たっての注意事項(基礎編)

研修受講に当たっての注意事項(標準編)

※必ず注意事項及び下記実施要領を読んでから研修登録を行うこと。
※基礎編と標準編の両方を受講する場合はそれぞれ研修登録が必要となる。

約2時間30分

約60分

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



公益社団法人
日本歯科衛生士会

English お問い合わせ サイトマップ

一般の方へ

日本歯科衛生士会概要

入会案内

研修・学習・認定

歯科衛生士より・学生日より

共通書式
マニュアル
ポスター

災害時、私たちにできること



被災者の口腔保健と健康増進を支援します

避難生活では、口腔保健が大切です。口腔保健の向上は、健康増進につながります。

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021

共通書式なども
まとめたマニュアル



マスクをしたままでもできる

お口の体操

～ 唇や舌、頬などの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ～



公益社団法人
日本歯科衛生士会

日本歯科衛生士会概要

入会案内

研修・学習・認定

歯科衛生士より・学生日より

日本歯科衛生士会

マスクをしたままでもできるお口の体操(動画)



令和4年度厚生労働行政推進調査(令和7年度改定追補版)
<https://jsdphd.umin.jp/pdf/22IA2006.nkkk.booklet.4p.20260108.pdf>

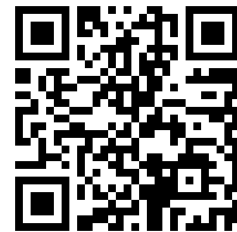
平成30年度～令和4年度 JSPS科研費
<http://jsdphd.umin.jp/pdf/19K10420.nkkk.4p.pdf>

月刊nico 2018年8月号

被災地での水不足が健康リスクを高める

避難所での生活がフレイル(虚弱)を加速させる

被災時にも活躍するオーラルケア用品



避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】
 ダイヤモンド・オンライン 2024.11.28 <https://diamond.jp/articles/-/353929>

能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続

寄稿 中久木 康一, 長谷 剛志

2025.04.08 医学界新聞:第3572号より

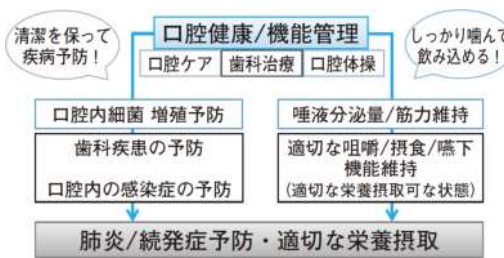


図1 災害時の口腔健康管理/口腔機能管理

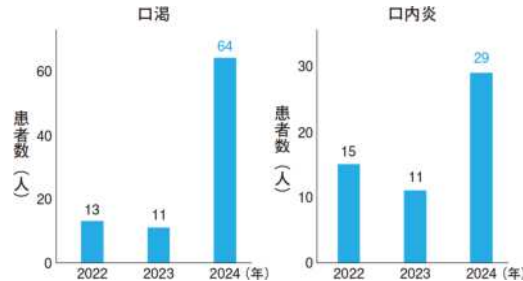


図2 能登半島地震後に増加した口腔の主訴
公立能登総合病院歯科口腔外科における1月1日~2月29日の2か月間の受診数。

【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続
2025.04.08 医学界新聞: 第3572号, https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572_05



歯科の新常識 vol.07

歯科医療従事者に求められる役割とは?

災害時の歯科活動

もし明日、災害が起きたら?

歯科医療従事者に求められる役割とは?

災害時の歯科活動

もし明日、災害が起きたら?

歯科医療従事者に求められる役割とは?

ライオン歯科材 Dent. File vol.57, 2025May, P9-10 歯科の新常識「災害時の歯科活動」
許可をいただき転載: 日本災害時公衆衛生歯科研究会>ポスター・パンフレット等
<https://isdphd.umin.jp/forcitizens.html>



災害時の健康を守る オールルケア

50代の女性を応援するフリーマガジン「めりいさん」

2025年6月10日号 (歯と口の健康週間に関する特集)

許可をいただき転載: 日本災害時公衆衛生歯科研究会>ポスター・パンフレット等
<https://isdphd.umin.jp/forcitizens.html>

医歯薬出版, 2014年, 3960円

クインテッセンス出版, 2016年, 1980円

医歯薬出版, 2018年, 7200円

一世出版, 2015年, 2200円

砂書房, 2011年, 3080円

医歯薬出版, 2021年, 3850円

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

※YouTubeにリンクが飛びます



○ 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク

- ・個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要
- ・個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説
- ・個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説
- ・個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説
- ・個別複数アセス記載 記載の注意事項



○ 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント

- ・Scene 1 高齢の女性
- ・Scene 2 幼児がいる女性
- ・Scene 3 歯が痛い男性
- ・Scene 4 高齢の母とその娘
- ・Scene 5 じっとしている男性
- ・Scene 6 高齢者の介護者

日本歯科衛生士会
協力

動画 5分
1カ月の活動の流れ



○ 活動記録紹介動画

- ・2016年 熊本地震
- ・2017年 九州北部豪雨

動画 10分
組織的間の役割分担や準備



日本災害時公衆衛生歯科研究会

<http://jsdphd.umin.jp/>



日本災害時公衆衛生歯科研究会

Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D

メーリングリスト
各種書式・パンフレット
研修媒体動画
研修会資料・動画

ポスター・パンフレット	記録票・資料	研修教材	研修会記録	書籍・報告書	ML登録
目的 災害時に歯科口腔保健に必要な知識・技術の普及と、必要に応じて、必要な歯科口腔支援を確保するため、自体的・実践的な研修を実施する。 個人が集まり、よりよい災害時公衆衛生歯科のための提言を出し、それを広めること。 意義や目的として、下記などがあげられる。 1) 災害時の歯科保健の標準化などの提案を出していくシンクタンク。 2) 災害時の多職種連携での対応のあり方を探り体制を構築していく。 3) 研修の題材やスタイルを作成し、それを試し完成させていく。 4) 必要あれば出張研修の依頼を受ける母体。					書籍・研究報告書など 研修会動画・配布資料など 研修動画・活動動画・研修準備資料など アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど
2015年6月15日発行 一世出版 A3判 2000円					日本災害時公衆衛生歯科研究会 ML登録係 jsdphd-admin@umin.net

